

# 丸紅 グリーンボンド レポートディング

-2021年発行米ドル建て無担保社債-

適格事業区分	適格基準	環境目標
 <p>再生可能エネルギー</p>	<p><b>再生可能エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 以下に規定する再生可能エネルギーの発電に係る投資・開発・建設・管理・運営保守で、直接排出量が100g-CO<sub>2</sub>/kWhを下回るもの             <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 太陽光</li> <li>◦ 風力</li> <li>◦ 地熱</li> <li>◦ バイオマス（認証付き木材を原料とする木質ペレット・チップに限定）</li> <li>◦ 小水力（発電能力が25メガワット以下のもの）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動の緩和（温室効果ガス排出量の削減、再生可能エネルギーの導入）</li> </ul>
 <p>生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理</p>	<p><b>植林事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● FSC/PEFC認証が付与された植林事業に係る植林・投資・管理・運営保守・研究開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然資源の保全</li> <li>● 気候変動の緩和</li> </ul>
 <p>持続可能な水資源および廃水管理</p>	<p><b>上下水道事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 下記上下水道事業に係る投資・開発・建設・管理・運営保守             <ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 上水道関連施設</li> <li>◦ 下水道関連施設</li> <li>◦ 関連設備</li> <li>◦ 関連パイプライン</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 汚水防止および管理</li> <li>● 自然資源の保全</li> </ul>
 <p>汚染防止及び抑制</p>	<p><b>マグネシウムリサイクル製錬事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● マグネシウムリサイクル製錬事業に係る投資・研究開発・設備投資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動の緩和（温室効果ガス排出量の削減）</li> <li>● 自然資源の保全</li> </ul>

# 資金充当及びインパクトレポート

資金充当額  
**500.0** 百万米ドル

グリーンボンドによる調達額(2021年9月発行)  
**500.0** 百万米ドル



**228.8** 百万米ドル  
再生可能エネルギー



**186.6** 百万米ドル  
植林事業



**84.7** 百万米ドル  
上下水道事業

設備容量

**721.4** MW

植林面積

**93.2** 千 ha

水処理量

**100,487,576** m<sup>3</sup>

推定CO2削減排出量

**724,180.0** t-CO<sub>2</sub>

(注) 2024年3月に充当事業を見直し、2022年6月28日に公表したインパクトレポートの各数値を更新しております。

丸紅株式会社（以下、当社）は、サステナリティクス社によるアニュアルレビューを受け、調達資金と同等額の資金がフレームワークに記載されている適格基準の全要素に従って充当されたことの保証を受けています。

尚、レビュー結果の詳細につきましては、以下URLにて開示されております。

:[https://marubeni.disclosure.site/ja/sustainability/pdf/greenbond/greenbond\\_annual\\_review\\_jp.pdf](https://marubeni.disclosure.site/ja/sustainability/pdf/greenbond/greenbond_annual_review_jp.pdf)

## 備考

### ※ 適格事業区分

当社は、国際資本市場協会（ICMA）が定めるグリーンボンド原則2021に即したフレームワークに適格事業区分を定めました。  
尚、サステナリティクス社よりフレームワークについてセカンドパーティー・オピニオンを取得しております。

### ※ 資金充当状況

当社は、グリーンボンドによって調達した資金総額と同額を適格事業に充当致しました。

### ※ プロジェクトの評価および選定プロセス

当社は、財務部とサステナビリティ推進部が連携して、適格基準に基づき調達資金の充当先となる適格事業を選定しました。